



Harima-cho
International
Friendship
Association

播磨町国際交流協会

No.38 2009年(平成21年)6月1日

アメリカ・オハイオ州ライマ市 姉妹都市提携10周年記念 10th Anniversary of Sister Cities Partnership March 15, 2009

英語圏の国と姉妹都市提携を結びたいという協会設立当初からの夢がかなって10年。アメリカ・オハイオ州ライマ市と播磨町は、互いの友情と協力で温かな友好関係を築いてきました。

アメリカは太平洋を隔てた遠い国ではありますが、距離を感じさせないお付き合いが、町レベルだけでなく個人レベルでも広がっています。



ちょうど姉妹都市提携10周年を迎えた3月15日(日)、ライマ市と播磨町で記念式を行いました。当日は、ライマ市の会場と播磨町の会場をスカイプ(インターネット)を使って結び、互いの顔を見ながら一緒にこの10年を祝い、これからの交流を約束しました。

現在までに友好訪問団として双方の市町を訪問した人の数は300人を超えます。そして、各訪問団受け入れには、さらに数えきれない人々が協力されました。Eメールの普及で通信も簡単に行える時代になり、長く友情を育んでおられる方々もありますし、また生徒や学生の訪問は、彼らの人生に大きな影響を与える機会にもなっています。

相互理解を図り平和を願う、我々の姉妹都市提携が、さらに多くの人々の間に広がることを願っています。



プレゼントのケーキをライマ市と播磨町で同時にカット



ライマ市 会場

(10周年プログラム)

1. ライマ市長・播磨町長 あいさつ
2. ライマ市議長・播磨町議長 あいさつ
3. 両協会長 あいさつ
4. プレゼントのケーキ交換とケーキカット
5. 10年間の交流ビデオ披露
6. 両住民の自由通信
7. 終わりの言葉



平成 21 年度 総会開催

5月10日(日)中央公民館 第2研修室において「平成21年度播磨町国際交流協会総会」が開催されました。総会では、平成20年度事業報告・決算報告、平成21年度事業計画・会計予算が承認され、新理事も選任されました。

平成 20 年度の事業報告

- (1) 総会 5月11日
- (2) 理事会 3回開催
- (3) 協会誌発行3回(6月、9月、1月)/協会だより
- (4) 海外交流事業
 - 6月12日～20日 米国ライマ市訪問団受け入れ
 - 11月21日～24日 中国天津市和平区訪問団派遣
 - 平成21年3月15日
 - ライマ姉妹都市提携10周年記念式
- (5) 語学講座
 - 英会話講座4コース 中国語講座1コース
 - 韓国語講座1コース
- (6) 国際交流料理教室
 - 5月 ベトナム料理
 - 6月 ブラジル料理
 - 12月 アイルランド クリスマス料理
- (7) 町内交流事業
 - 5月 国際交流 IN HARIMA
 - 7月 英語助手お別れ会
 - 8月 子ども英語ディキャンプ
 - 9月 英語チャットルーム・英語助手歓迎会
 - 日本語ボランティア講座(2回)
 - 10月 ヨガ体験とインドの話
 - 子どもハロウィーン
 - 11月 大中遺跡まつり参加
 - 日本文化紹介バスツアー
 - 12月 子どもクリスマス

- 21年1月 英語チャットルーム2回目
 2月 春節祭・英語講演
 3月 イースター・クリス先生お別れ会
 ライマ姉妹都市提携10周年記念式
 花見

その他、古切手収集・ユニセフへの募金等の国際協力、地域での交流活動の協力を行いました。

平成 20 年度の決算報告

平成20年度決算額は、収入3,982,346円で、支出金額は、3,770,243円となっております。内訳は次の通りです。

収入 (単位:円)		支出 (単位:円)	
項目	決算額	項目	決算額
繰越金	220,036	事務局費	2,135,471
補助金	1,520,000	会議費	1,462
会費	1,107,000	事務費	2,134,009
諸収入	1,059,450	事業費	1,634,772
雑入	75,860	総会費	0
計	3,982,346	広報費	333,415
収入金額	3,982,346円	海外交流費	317,472
支出金額	3,770,243円	語学講座費	620,800
差し引き	212,103円	国際料理教室費	53,584
(平成21年度へ繰り越し)		町内交流費	309,501
		予備費	0
		計	3,770,243

平成 21 年度の事業計画

- (1) 協会誌発行(6月、9月、1月)
その他、協会誌とは別に随時「協会だより」でお知らせします。
- (2) 海外交流事業
 - 8月 米国ライマ市訪問団派遣
 - 冬 中国天津市和平区訪問団の受け入れ
- (3) 語学講座
 - 英会話講座・中国語講座・韓国語講座
- (4) 国際交流料理教室(3回)
韓国料理等を予定
- (5) 町内交流事業
 - 部会活動(英語圏部会・中国語部会)
 - 国際交流 IN HARIMA・春節祭
 - 英語チャットルーム・子ども交流事業
 - 大中遺跡まつり・異文化紹介
 - 町内での交流事業への助成等
- (6) ボランティア事業
 - ・使用済み切手・外国コインなどの回収
 - ・ボランティア養成講座
 - ・国際協力活動の紹介
 - ・在住外国人の生活相談
- (7) 新会員の募集

平成 21 年度の予算

平成21年度の予算額は3,944,000円となっており、内訳は次のとおりです。

収入 (単位:円)		支出 (単位:円)	
項目	予算額	項目	予算額
繰越金	212,000	会議費	5,000
補助金	1,520,000	事務局費	2,000,000
会費	900,000	総会費	1,000
諸収入	1,262,000	広報費	350,000
雑入	50,000	海外交流費	448,000
計	3,944,000	語学講座費	755,000
		国際料理教室費	60,000
		町内交流費	320,000
		予備費	5,000
		計	3,944,000

平成 21・22 年度協会役員名簿

役職	氏名	役職	氏名
会長	山口 勝英	理事	佐伯 映子
副会長	下垣 俊子	//	滝川 恵吾
//	脇 清	//	竹内 泰
理事	井上 秀子	//	藤本 真美
//	今村 恒紀	//	村津 恭子
//	宇佐美 隆史	監事	米谷 美代子
//	大川 康博	//	三森 修
//	大北 良子		

June 1st, 2009 (Year of Heisen 21) - # 36 †

HIFA Newsletter

10 years has past since initial dream came true for us to have a sister cities relationship with English speaking country at the time of establishing our Association. Lima, Ohio, USA and Harima-cho continued building our friendship together with warm and kind hearts.

America may be a far away across the Pacific Ocean, but we have kept friendly interchange at official level and also personal level regardless of the distance.

On March 15th (Sunday), we had commemoration ceremony between Lima and Harima-cho to celebrate the 10 years of the Sister Cities relationship. We linked Lima and Harima-cho using Skype (Internet); both sides toasted to 10th Anniversary by viewing each other, and promised to continue friendly interchange in future.

Over 300 people, as friendship interchange groups, mutually visited each other's country. Countless numbers of people have helped to receive these visiting groups. Correspondence became so much simpler since e-mail became widely used, and many have developed long-term friendship, and these Youth Exchange visits gave chance to greatly effect life of the students.

We pray that peace will be kept by the mutual understanding of cultures, and ideal of the Sister Cities cooperation would widely broadcasted among many people.